

TB-8000_sb/hid ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよく読みの上、お楽しみください。



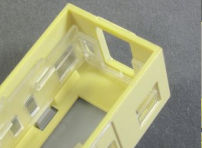

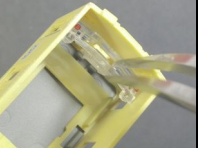

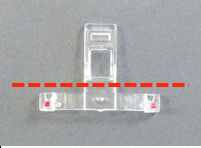
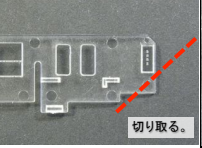
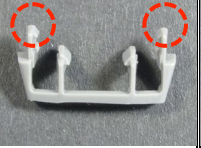
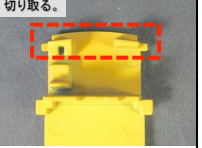
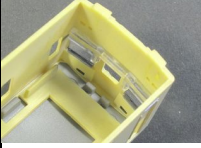


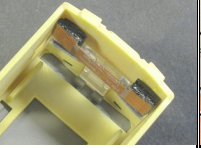

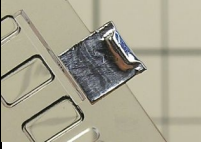




【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・東武8000系更新車(シールドビーム)
・東武8000系更新車(HID)
・東武800型・850型
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

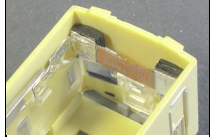

注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。
【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直しているとう導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

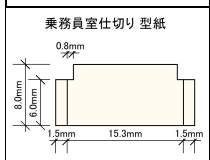


【必要な工具】
・カッティングマット
・ピンセット
・ニッパ
・プラスドライバー
・両面テープ
・木工ボンド
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラピー」など)
・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
・楊枝、綿棒など
・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
・ゴム系接着剤
・プラモデル用接着剤
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
・ポンプ(プッシュピンなどでも可)
・サンドペーパー
・マスキングテープ
・瞬間接着剤
・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

1. 分解する				
1-1 床板を外す	1-2 パンタグラフを外す	1-3 窓ガラスを外す	1-4 前面透明パーツを外す	
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	パンタグラフは、楊枝などで内側から押しを外します。 この車種は、屋根を外すことは必須ではありません。	窓ガラスは、連結面、側窓、前面の順に外します。 連結面の窓ガラスは、車体角を押し開きながら、楊枝などを差し込んで外します。	前面窓の透明パーツは、まずヘッド・テールライトを外側から楊枝などで押します。	
2. 車体を加工する。				
(1-4つづき)	2-1 前面透明パーツの加工	2-2 側窓を加工する	2-3 スカートを加工する	3. 床板を加工する (トレーラー車の場合)
				
ヘッド・テールライトと貫通扉の窓が一体となったパーツが外れると、前面窓のパーツは、ちょっと触れるだけで外れると思います。	前面透明パーツを、貫通扉窓の下で切断します。 ヘッド・テールライトレンズは使用しないので保管します。	側窓前縁を、乗務員扉の窓の下前の角に接する45度の線でカットします。カッターで角度備を付けてから折ります。	スカートの両サイドのツメを、下側の突起の上でカットします。 取付けに際しては、ダミーカブラー部分にゴム系接着剤を併用します。	切り取る。 動力なし車の場合(車両付風の床板を使用する場合)、シート前縁の幅が広がっている部分(約2mm)をカットします。
4. 基板を配置する				
4-1 前面窓をはめる	4-2 貫通扉窓をはめる	4-3 ライトユニットをはめる	5. 配線する	
				
前面窓ガラスをはめます。固定しにくくなっているため、窓ガラス下の余白に両面テープ片を貼って固定します。	貫通扉の窓ガラスをはめます。固定しにくくなっているため、窓ガラスの両側に両面テープ片を貼って固定します。	ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。	5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。 側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブに当たる	
5. 配線する				
(5-1つづき)	5-2 側窓下にアルミテープを貼る	5-3 側窓をはめる	5-4 ライトユニットへの配線	
				
ようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。	2.5mm×108mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。両側の側窓に貼ります。	側窓をはめます。	1.5mm×12mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	

5-5 給電パッドの重ね貼り	5-6 側窓下の重ね貼り
	
<p>ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>	<p>側窓下の通電の確実を期して、2.5mm×10mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>

●乗務員室仕切りを取り付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p> 		
<p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	<p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	<p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p>

